

九州における農林水産物・食品等の効率的な輸出物流の
構築に向けた事業者等の意向把握及び最適な輸送ルート・
混載方法等についての検討事業委託業務
報告書

令和8年3月6日

公益財団法人 流通経済研究所

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21 山脇ビル10階

Tel : 03-5213-4531(代) Fax : 03-5276-5457

目次

- 1. 今回の調査の目的及び事業の概要
- 2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要
- 3. アンケート結果から得られた内容
- 4. 有識者からのご意見の要旨
- 5. 実証試験の要旨
- 6. まとめ

1. 今回の調査の目的及び事業の概要

■ 今回の調査の目的

- 農林水産物・食品の輸出の拡大を図るためには、国内の主要な輸出拠点となっている空港や港への最適な輸送ルートの確立や大口ロット化・混載の促進、産地・事業者等のネットワークの構築等が重要である。
- 一方で、小規模に出荷されている品目の場合、生産地から輸出拠点空港等までの輸送手段の確保、小ロットによる輸送コスト高などが制約となって、輸出ができない事業者がいる可能性があることが指摘されている。
- このため、九州の農林水産物・食品等の輸出・物流に関する関係事業者の具体的な現状やニーズ、課題などを幅広く把握して、物流の改善によって輸出が拡大する可能性とともに、輸出拠点空港等への最適な輸送ルート確立について検討する。

■ 事業の概要

- 事業実施期間：令和7年7月10日～令和8年3月6日
- 本事業においては、次の（1）から（4）までに掲げる内容を実施することとする。
 - （1）アンケート調査
 - （2）有識者会議の開催等
 - （3）国内物流実証試験の実施及び分析
 - （4）調査報告書の取りまとめ等

1. 有識者について

	業種	事業者名	構成員
1	生産者	サプライジングファーマーズ株式会社	代表取締役 木山 勇志
2	生産者団体	JAみやざき	農業戦略部 総販戦略課長 岩切 香苗
3	生産者団体	熊本大同青果株式会社	常務取締役 永田 健二
4	生産者団体	JA鹿児島経済連	営業開発課 営業推進係長 粕井 拓朗
5	食品製造	ニビシ醤油株式会社	海外事業部 海外事業課 立石 庄司
6	食品製造	マルキン食品株式会社	グローバル事業部 海外営業マネージャー 本田 幸治
7	食品製造	鹿児島製茶株式会社	錦江流通センター センター長 富山 友貴
8	物流事業者	株式会社福岡ソノリク	鹿児島支社 産地開発部 部長 山脇 孝之
9	物流事業者	全日本ライン株式会社	取締役副社長 阿部 篤志
10	物流事業者	西日本鉄道株式会社	国際物流事業本部 海運営業部 海運企画販売課 課長 伊藤 哲朗
11	物流事業者	博多港ふ頭株式会社	代表取締役社長 駒田 浩良
12	物流事業者	フレッシュエアー株式会社	代表取締役 大津 勝也
13	輸出商社	鹿児島くみあい食品株式会社	総合営業部 企画営業課 猪谷 秀作
14	輸出商社	弓場貿易株式会社	代表取締役社長 弓場 秋信
15	輸出商社	株式会社トキオ福岡	代表取締役 中尾 茂
16	学識経験者	国立大学法人九州大学	大学院農学研究院 環境農学部 生産環境科学講座 農産食料流通 工学研究室 田中 史彦
17	学識経験者	公益財団法人流通経済研究所	理事長 加藤 弘貴

1. 事業の実施の流れ

- 令和7年9月2日 第1回有識者会議（対面・ウェブ）
主な議題（本事業の概要説明、アンケート概要説明）

10月10日～11月14日 アンケート実施
- 11月25日 第2回有識者会議（対面・ウェブ）
主な議題（アンケート調査結果報告）
- 令和8年1月9日～令和8年1月16日 第3回有識者会議（持ち回り）
主な議題（実証ルートに対するアドバイス及び意見）
- 2月28日 実証試験実施
- 3月3日 第4回有識者会議（対面・ウェブ）
主な議題（実証結果、とりまとめ）

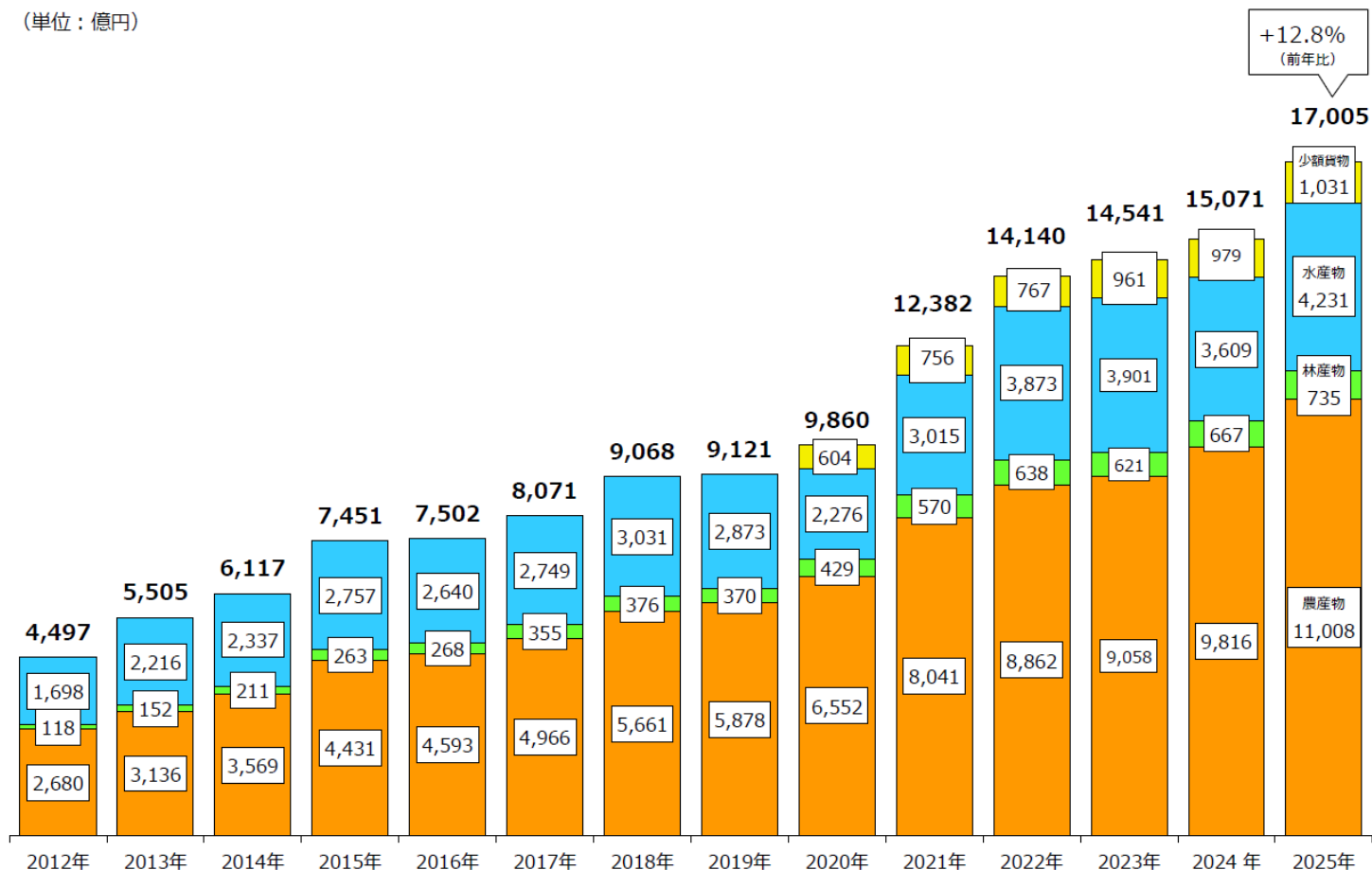
2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要

- 日本全体の農林水産物・食品の輸出額は増加傾向にあり、九州の港・空港から輸出される農林水産物・食品の輸出額も増加傾向にあり、2025年の九州からの輸出額は約1,954億円に達した。
- 2025年の九州の港・空港からの輸出の内訳をみると、水産物、加工食品、畜産物、林産物の順になっており、水産物ではぶりやさば、加工食品ではビール、日本酒、ソース混合調味料、畜産物では牛肉、林産物では丸太、製材、その他の農産物では緑茶、植木となっている。青果物については4%となっており、その中ではいちご、かんしょ、りんごなどとなっている。
- 輸出を牽引している主要品目には、以下の3つの傾向が見られる。
 - 高付加価値品（牛肉・いちご）：牛肉は博多港（105億円）と福岡空港（88億円）の双方で主力。特に空港経由は単価が極めて高く、富裕層向け需要の伸びを反映している。いちご（福岡空港：14億円）もアジア圏の需要で堅調。
 - 水産物（ぶり）：ぶりは博多港（147億円）と福岡空港（24億円）の主要品目。韓国やタイなどのアジア市場を確保している。
 - 加工食品・飲料（アルコール飲料）：アルコール飲料は博多港（180億円）で品目別1位。台湾や中国向けに大量輸出されており、九州輸出の大きな柱となっている。
 - 素材（丸太）：丸太は志布志港（64億円）の輸出額の半分以上を占める。中国向けを中心とした物量の伸びが、全体の輸出数量（30万トン）の底上げに寄与している。
- 輸出構造の分析（単価と効率）
 - 福岡空港の戦略的価値：1トンあたりの金額が約340万円と高く、効率的な輸出（高単価）を実現している。
 - 博多港の総合力：アルコール、ぶり、牛肉、ホタテ（56億円）など、多角的な品目構成が強み。
 - 地方港の専門化：志布志港や細島港は丸太、川内港は化学品（くえん酸）、三角港は「たい」など、特定の地場産品に特化した輸出ルートが確立されつつあると考えられる。
- 全体として、円安による価格競争力の向上に加え、アジア市場における「九州ブランド」の浸透が、金額・数量双方の押し上げ要因となっていると想定される。
- さらに輸出を増やしていくには全体の底上げが必要と考えられ、既存の輸出を増やすほか、小規模など、これまで輸出をできなかった生産者・食品製造事業者も輸出につなげていく必要があるのではないか。

2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要

- 国内の農林水産物・食品の輸出額の推移をみると、右肩上がりになっており、2025年については17,005億円となっており、前年比12.8%増となっている。

農林水産物・食品 輸出額の推移



※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

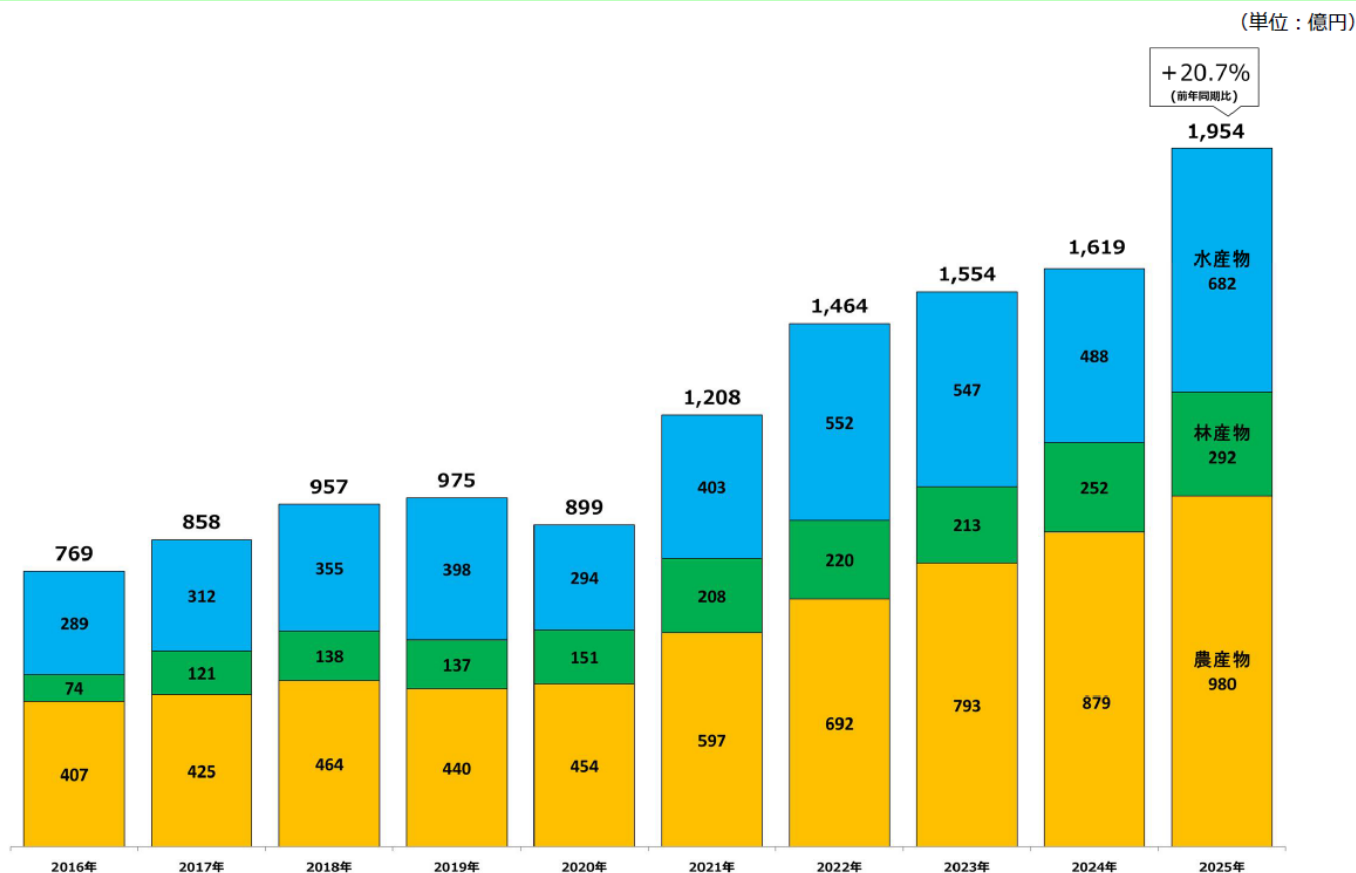
2

2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要

- 九州管内の港湾からの農林水産物・食品における輸出額の推移は以下の通り。
- 2025年は1,954億円となっており、2024年対比で20.7%増となっている。

参考値

九州の港等からの農林水産物・食品 輸出額の推移



※財務省「貿易統計」における門司税関及び長崎税関のデータを基に九州農政局が参考作成
※確報の値を再集計

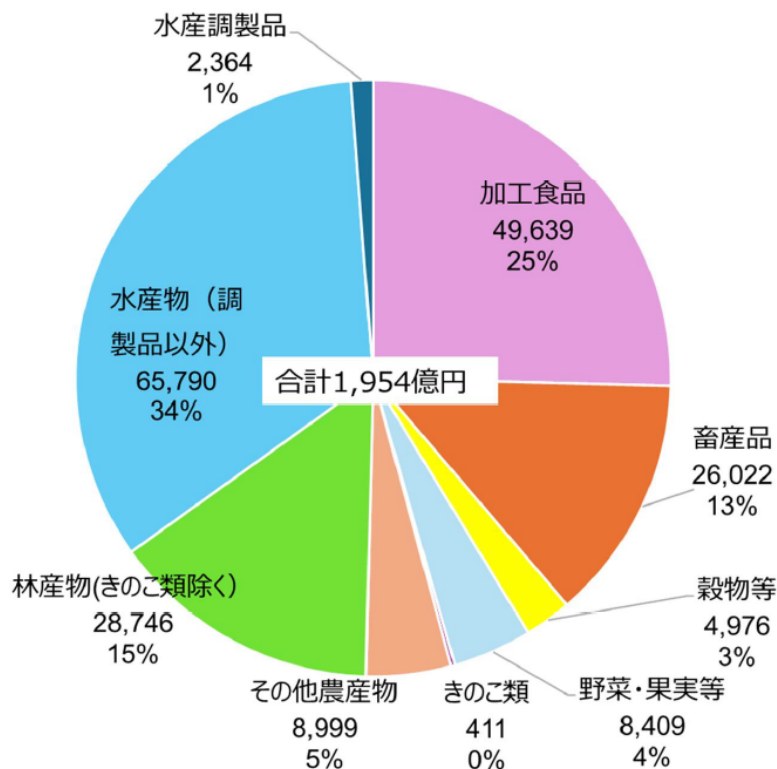
出所：九州農政局資料

2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要

- 九州管内の港湾からの輸出内訳は以下の通り。
- 水産物が34%と圧倒的に多く、次いで加工食品が25%となっている。

参考値 九州の港等からの農林水産物・食品輸出の内訳（2025年）

品目	金額 (百万円)	割合 (%)
水産物（調製品以外）	65,790	100.0%
ぶり	33,386	50.7%
さば	8,249	12.5%
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）	4,758	7.2%
たい	2,479	3.8%
うなぎ（活魚）	2,239	3.4%
かつお・まぐろ類	1,920	2.9%
かき（活魚・生鮮・冷蔵・冷凍）	480	0.7%
錦鯉	456	0.7%
真珠（天然・養殖）	67	0.1%
水産調製品	2,364	100.0%
キャビア	644	27.2%
練り製品	619	26.2%
ホタテ貝（調製）	267	11.3%
なまこ（調製）	26	1.1%
林産物	29,157	100.0%
丸太	23,063	79.1%
製材	3,583	12.3%
木製家具	1,292	4.4%
合板	7	0.0%
その他農産物	8,999	100.0%
たばこ	618	6.9%
緑茶	3,221	35.8%
花き	1,603	17.8%
植木等	1,549	17.2%
切花	53	0.6%



品目	金額 (百万円)	割合 (%)
加工食品	49,639	100.0%
アルコール飲料	25,266	50.9%
日本酒	6,615	13.3%
焼酎（泡盛を含む）	548	1.1%
ウイスキー	479	1.0%
ビール	13,588	27.4%
リキュール等	2,501	5.0%
その他の発酵酒等	1,400	2.8%
ソース混合調味料	5,865	11.8%
清涼飲料水	4,749	9.6%
菓子（米菓を除く）	1,070	2.2%
醤油	492	1.0%
米菓（あられ・せんべい）	195	0.4%
味噌	76	0.2%
畜産品	26,022	100.0%
畜産物	24,406	93.8%
牛肉	20,709	79.6%
牛乳・乳製品	1,437	5.5%
鶏卵	1,046	4.0%
鶏肉	743	2.9%
豚肉	471	1.8%
野菜・果実等	8,409	100.0%
青果物	6,007	71.4%
いちご	2,393	28.5%
かんしょ	1,713	20.4%
りんご	235	2.8%
ぶどう	195	2.3%
かき	182	2.2%
かんきつ	162	1.9%
もも	116	1.4%
だいこん・ごぼう等	109	1.3%
キャベツ （芽キャベツを除く）	106	1.3%
なし	82	1.0%

※財務省「貿易統計」における関税関及長崎税関のデータを基に九州農政局参考作成
※確報の値を再集計

※混合品目や（ ）内については関連品目のHSコードを集計したものの

出所：九州農政局資料

2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要

アンケート調査（実施概要は後述）や有識者への聞き取りなどにより確認できた九州からの農林水産物・食品の輸出品目のうち青果における輸出先国別の輸出ルートは以下の通り。

品目	生産県	船便or 航空便	輸出先国	国内最終出 発地	国内経由地 ①	国内経由地 ②	その他
いちご	熊本	航空便	タイ	福岡空港	熊本県内集荷場	熊本県内集荷場	
	熊本	航空便	香港	福岡空港	産地		県内集荷場 経由の場合 もあり
	熊本	航空便	シンガポ ール	福岡空港	熊本県内集荷場	熊本県内集荷場	産地から直 接空港の場 合もあり
	熊本	航空便	マレーシア	羽田空港	福岡空港		
	熊本	航空便	香港	福岡空港	産地	卸売事業者	
	福岡	航空便	タイ	福岡空港	福岡県内流 通センター		
	福岡	航空便	タイ	福岡空港	産地		
	鹿児島	航空便	不明	福岡空港	産地	不明	最初の物流 業者は、日 通、その後 は不明

2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要

アンケート調査（実施概要は後述）や有識者への聞き取りなどにより確認できた九州からの農林水産物・食品の輸出品目のうち青果における輸出先国別の輸出ルートは以下の通り。

品目	生産県	船便or 航空便	輸出先国	国内最終 出発地	国内経由 地①	国内経由 地②	その他
かんしょ	宮崎	船便	香港	神戸港	都城市選果場	大阪府内青果センター	
	宮崎	船便	中国	神戸港／横浜港	加工会社	横浜共立倉庫	物流業者は●●運輸、かんしょ加工品を輸出
	熊本	船便／航空便（納品先による）	香港	博多港／福岡空港（納品先による）	自社倉庫		最終出発地まで自社輸送
	鹿児島	船便	香港	博多港	自社倉庫		
	鹿児島	船便	カナダ	志布志港	自社倉庫		

2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要

アンケート調査（実施概要は後述）や有識者への聞き取りなどにより確認できた九州からの農林水産物・食品の輸出品目のうち畜産における輸出先国別の輸出ルートは以下の通り。

品目	生産県	船便or 航空便	輸出先国	国内最終 出発地	国内経由 地①	国内経由 地②	その他
牛肉	熊本	船便	アラブ首長 国連邦	博多港	自社倉庫		
	鹿児島	航空便	台湾	福岡空港	屠場		
	熊本	船便、航空 便	タイ	福岡、関西 の港や空港	加工場		船便か航空 便かは、取 引先によっ て異なる
	宮崎	不明	カタール	不明	加工場	物流会社セ ンター	
	宮崎	船便、航空 便	台湾	福岡空港、 神戸港など	自社工場	外部倉庫	
	長崎	不明	マカオ	不明	食肉セン ター	営業所	
鶏卵	福岡	船便	香港	博多港			

2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要

- アンケート調査（実施概要は後述）や有識者への聞き取りなどにより確認できた九州からの農林水産物・食品の輸出品目のうち水産物における輸出先国別の輸出ルートは以下の通り。

品目	生産県	船便or 航空便	輸出先国	国内最終 出発地	国内経由 地①	国内経由 地②	その他
ブリ	鹿児島	船便	韓国	唐津	自社養殖場		輸送形態は活魚船
	鹿児島	船便	米国	博多港	自社工場	福岡物流センター	冷凍ブリ加工品を輸出
	鹿児島	船便	米国・オランダ	志布志港／博多港（9割が志布志）	他社倉庫	自社工場	冷凍ブリ

2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要

アンケート調査（実施概要は後述）や有識者への聞き取りなどにより確認できた九州からの農林水産物・食品の輸出品目のうち加工食品における輸出先国別の輸出ルートは以下の通り。

品目	生産県	船便or 航空便	輸出先国	国内最終 出発地	国内経由 地①	国内経由 地②	その他
納豆	熊本	船便	中国・韓国	博多港			
調味料	佐賀	船便	台湾	博多港	自社工場		液体調味料
	福岡	船便	フランス	東京港	自社工場	物流会社の 保冷倉庫	味噌
	福岡	船便	チェコ	神戸港	自社工場	営業所	味噌、玄米味噌、 麦味噌
	福岡	船便	フィリピン	不明	自社集荷		たれ
	福岡	船便	フランス	横浜港	自社工場	物流セン ター	赤しそドレッシ ング
	鹿児島	船便	米国	志布志港	自社倉庫		みそ
	福岡	船便	韓国	博多港	メーカー		調味料類

2. 九州の農林水産物・食品の輸出の概要

■ アンケート調査（実施概要は後述）や有識者への聞き取りなどにより確認できた九州からの農林水産物・食品の輸出品目のうち加工食品における輸出先国別の輸出ルートは以下の通り。

品目	生産県	船便or 航空便	輸出先 国	国内最終出発 地	国内経 由地①	国内経由地 ②	その他
お茶	鹿児島	航空便	スイス	大阪（関空）	自社	大阪（DHL取 扱拠点）	佐川急便（国内集荷・ 配送）、フォワーダー （玉露・抹茶）
	宮崎	船便	E U	不明	自社	静岡県内製茶 場	物流業者は日本郵便
	鹿児島	航空便	フランス	福岡空港	自社	郵便局	EMSで輸送
	鹿児島	船便	米国	博多港	自社	保税蔵置場 （CFS）	抹茶
	鹿児島	船便	E U（ド イツ）	門司港	自社		有機緑茶
	鹿児島	船便	米国	志布志港	自社倉庫		
	佐賀	航空便	ドイツ	伊丹／関空	自社		空港までFedEX
	鹿児島	船便	E U	門司港			有機緑茶
	熊本	航空便／船便	台湾	伊丹・関空／大阪港	自社	大阪の輸出商社 （ゆうパック）	黒豆茶、ルイボス 茶